

瀬戸内町立図書館 令和3年 第13号 (2021. 11 No.13)

新着！図書だより

中学生向け

毎月第2・4金曜日にたくさんの本が入ってきます。
今回は、新着図書からその一部をご紹介します！！

中学1年生～3年生



『うちのネコ、ボクが目玉を食べちゃうの?』
ケイトリン・ドーティ著，十倉 実佳子訳 出版社：化学同人

【内容紹介】
「死ぬとウンチが漏れる?」「変顔で死んだらそのまま固まっちゃうの?」「死ぬ直前にポップコーンを食べて火葬されたら?」死体についての子どもたちからのドキッと鋭い質問に、葬儀屋がユーモアたっぷりに答える。



『転換期を生きるきみたちへ 中高生に伝えておきたいたいせつなこと』
内田 樹編 出版社：晶文社

【内容紹介】
世の中の枠組みが変化し、既存の考え方が通用しない歴史の転換期に、中高生に「これだけは伝えたい」という知見を集めたアンソロジー。言葉の力、憲法、愛国心…。若者たちにこれからの時代を生きるための知恵と技術を伝える。



『あしたの幸福』 いう みく著，松倉 香子絵 出版社：理論社

【内容紹介】
中学生の雨音の父が事故で死んだ。父と2人暮らしだった雨音は、親戚の世話になりたくなくて、赤ん坊の頃に家を出た産みの母と一緒に暮らすことを選んだ。どんな名もつかない間柄がつむぐ糸の行方は…。



『10代の本棚』こんな本に出会いたい あさの あつこ編著 出版社：岩波書店

【内容紹介】
10代という多感な時期に、どんな出来事にこころを揺さぶられながら、大人の階段をのぼってきたのか。あさのあつこ、荒木源、佐藤多佳子、はやみねかおるといった個性豊かな大人たちが綴る、「10代の私」と「本」の物語。



『方言萌え!? ヴァーチャル方言を読み解く』
田中 ゆかり著 出版社：岩波書店

【内容紹介】
方言を演说的ツールとして用いることがSNSやゲームを始め巷で流行中! そんな「ヴァーチャル方言」は、「リアル方言」にも影響を与えている。その関係をつぶさに観察し、日本語や日本社会の新たな断面を浮き彫りにする。



『5秒後に意外な結末 オイディプスの黒い真実』
桃戸 ハル編著，usi 絵 出版社：学研プラス

【内容紹介】
恐怖、笑い、感動、風刺、ブラックユーモア…。「ページをめくれば驚きの結末」×100話! イラストレーターusiの挿し絵とともに贈る、クセになるノンストップビジュアルショートノベルス。



『やりたいことはよくわかりませんが、私の適職教えてください!』
田中 勇一著，小林 義崇著 出版社：徳間書店

【内容紹介】
「やりたい」という思い、自分にしかない「強み」を引き出せば、理想とする仕事に巡り会える! 著者がこれまでにやってきたキャリアカウンセリングの経験に基づいて、適職の探し方を対話形式で解説する。



『はたらく細胞 06』清水 茜著 出版社：講談社

【内容紹介】
今、世間を騒がすあの「新型コロナウイルス」、このウイルスに感染した時、体内では何が起きているのか…!? 今、誰もが気になる大注目のエピソードを収録! その他「たんこぶ」「左方移動」「iPS細胞」等、なじみ深いものから、よくわからないものまで体の中は大騒ぎ! 話題騒然の体内細胞擬人化漫画、ついに最終巻!



『死物語 上』 西尾 維新著 出版社：講談社

【内容紹介】
デストピア・ヴィルトゥオーゾ・スーサイドマスターに会うため、故国を目指す忍野忍と阿良々木暦。人間社会が異常事態に陥った中、怪異にのみ感染するウイルスが吸血鬼を死に至らしめていて…。阿良々木暦の大学生編。



『死物語 下』 西尾 維新著 出版社：講談社

【内容紹介】
専門家の見習いとして、斧乃木余接、貝木泥舟と共に西表島へ向かう千石撫子。敵は蛇遣い・洗人迂路子・すべての元凶にして、臥煙伊豆湖の実の娘である。撫子が挑む“死闘”の結末は…。千石撫子の成長譚。